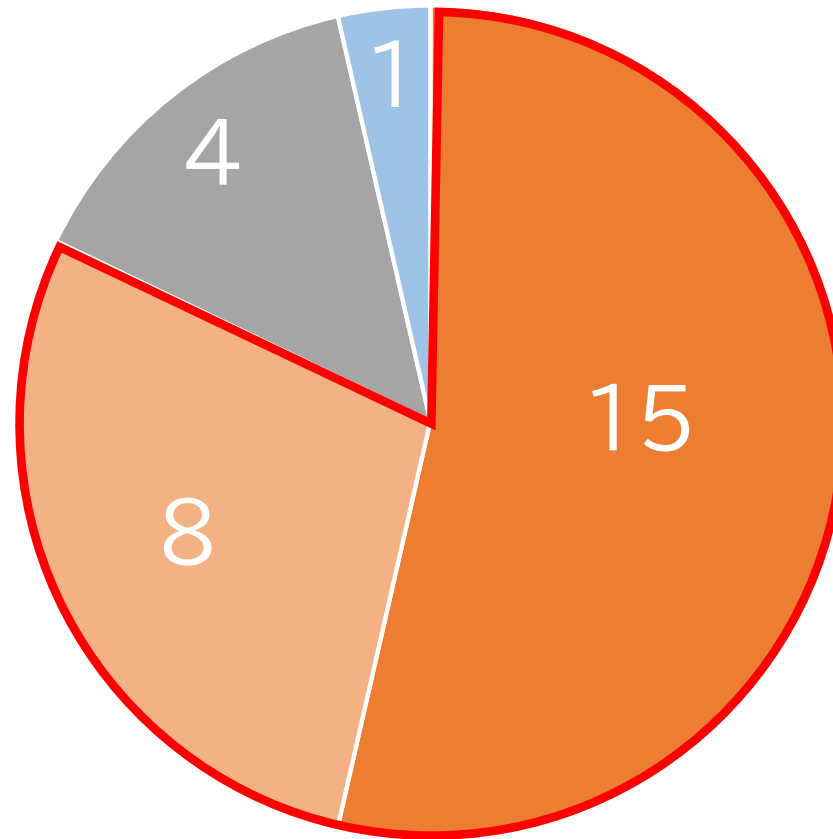


# 林業成長産業化地域創出モデル事業終了後における各地域の状況 (取組の継続状況)

28地域中、23地域がモデル事業の取組を継続



- モデル事業実施時と同様の実施体制で取組を継続
- モデル事業終了後は事業実施していない

- モデル事業実施時から実施体制を変更して取組を継続
- 実施体制について検討中

# 林業成長産業化地域創出モデル事業終了後における各地域の取組の波及・展開

## 資源の把握

### 山形県最上・金山地域(事業期間:H29-R3)

※事業終了後は事業期間と同様の実施体制で取組を継続

#### モデル事業取組内容

・増大する需要に対応するため、航空レーザデータやデジタル化した森林情報を活用して、経営判断や施業の省力化につなげるとともに、人材育成に取り組み、持続可能な林業経営の実施体制の構築を推進。



実施主体:最上・金山森林ノミクス推進協議会

主な参画者:金山町森林組合、素材生産事業者、山形県、金山町、山形県森林組合連合会、学識経験者 等

#### 事業期間後の取組の展開

・地域内にて航空レーザ計測を複数の市町村で実施、当協議会において取り組んだデータ解析等の実績を基にデータ分析等の方法の共有に向け、県のスマート林業協議会等へ参加。

・モデル事業の取組の評価から、GNSSの計測分野、非接触型認識装置、域内山林内でのGNSS精度の向上に資する技術等、専門分野との接触が増え、森林のデジタル情報基盤を活用した現場実装に向けた取組への展開を検討。

・スマート分野では、UAVによる苗木及び物資輸送等他の実証試験を行いつつ、省力化に向けた検討を実施し令和6年度以降の導入を計画。そのほか、製材機械に付帯するスキャナーによる木材の検知、携帯通信と衛星通信を活用したRTK GNSSの運用を検討。

## 流通の合理化

### 和歌山県田辺地域(事業期間:H29-R3)

※事業終了後は事業期間と同様の実施体制で取組を継続

#### モデル事業取組内容

・新規顧客獲得に向けた共同市の開催やWeb販売や、ICTを活用した木材情報の共有システムの検討、原木仕分けに係る人材育成等により流通の効率化や有利販売を進めることで利益拡大を推進。

・木質バイオマス発電所へのチップ供給のトレーサビリティ確保のシステム構築について、ICTによる活用シミュレーションや費用対効果の分析を実施。素材の物流・商流の状況から、広域での展開により、効果が高いという検証結果を得て、和歌山県と協議し、県の森林クラウドへの反映を提案。

実施主体:林業成長産業化運営協議会

主な参画者:田辺市、和歌山県、和歌山森林管理署、上富田町、白浜町、すさみ町、素材生産業者、素材需要者 等

#### 事業期間後の取組の波及

・和歌山県において、原木の生産者と、市場や製材所といった原木の需要者が、需給情報をリアルタイムで共有することができる需給情報共有システムを組み込んだ形で「和歌山県森林クラウドシステム」を構築し、令和5年8月より運用を開始。

・需給情報の共有だけでなく、トレーサビリティのICT管理と親和性の高い各種申請システムの構築を実現し、協議会員だけでなく、県下全域の市町村・林業事業体に効果を波及。



# 林業成長産業化地域創出モデル事業終了後における各地域の取組の波及・展開

需要拡大と製品の高付加価値化

## 大分県日田市地域(事業期間:H29-R3)

※事業終了後は実施体制を変更して取組を継続

### モデル事業取組内容

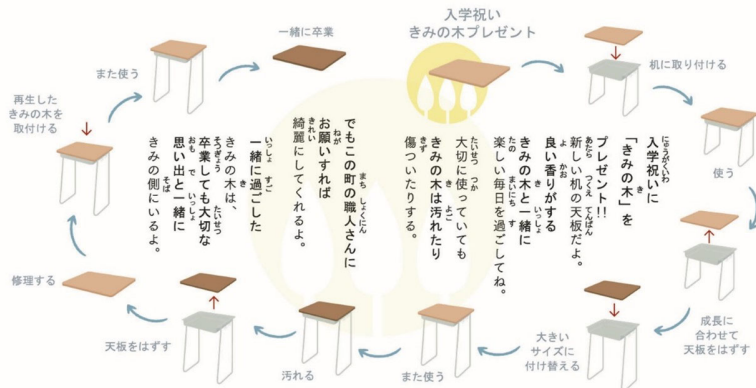
- ・学校現場や(協組)日田家具工業会と共同で学校机“きみの木”を作成するなど、地域資源を活用した多様な高付加価値商品を開発
- ・増加する大径材に対応した加工体制の整備を実施するとともに、商品を安定的に販売する需要先を開拓することにより、地域の林業を活性化。

**実施主体:**大径材利活用推進協議会、再造林推進協議会、地域材利活用推進協議会  
**主な参画者:**大分県、日田市、日田地区原木市場協同組合、日田木材協同組合、日田市森林組合、日田郡森林組合、協同組合日田家具工業会 等  
(それぞれの協議会で参画者は異なる)

### 事業期間後の取組の波及

・学校机“きみの木”については、令和4年度から市内の小中学校に導入を開始。今後、複数年の計画で市内の全小中学校に導入される予定。この“きみの木”は、図面を提供することで、他地域の地域材を活用し、その地域の家具製造業者で製作が可能。

・森林環境譲与税の活用の一つとして市外県外からも問い合わせがきており、前向きに検討が進められている案件もあることから、今後の横展開が期待。



地域林業の司令塔の設立

## 山口県長門地域(事業期間:H29-R3)

※事業終了後は事業期間と同様の実施体制で取組を継続

### モデル事業取組内容

- ・地域の林業の司令塔となる法人「リフォレながと」を設立。「リフォレながと」を中心として、市有林を活用した主伐・再造林の実証事業を実施。
- ・実証事業の中で事業体の確保や収支改善に向けた販売単価を上げる工夫、経費削減への取組を実施。
- ・「リフォレながと」が森林所有者と長期施業委託契約を進め森林の集約化を推進。



**実施主体:**長門市林業・木材産業成長産業化推進協議会  
**主な参画者:**素材生産者、製材・加工事業者、木材需要者、鹿児島大学、山口大学、長門市 等

### 事業期間後の取組の展開

・令和4年度には「リフォレながと」による新たな森林経営計画を1地区で樹立し、令和5年度も新たな地区で計画の樹立を予定。

・計画地内の私有林での主伐・再造林の実施も令和5年度中に実施することが決定し、今後本格的に私有林での主伐・再造林事業を拡大し、市内全体の森林の更新を推進。

・境界明確化や集約化、主伐・再造林を促進するため、スマートグラスや航空レーザーデータ、地上レーザによる精度の高い森林資源把握や、ICTハーベスタや木材検地システムを導入し、需要に即応した最適採材、大型トラックによる苗木等資材運搬やICT捕獲技術による獣害対策を実証中。